地球の最後

高坂　浩司

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
地球の最後

【Ｎコード】
Ｎ６８２９Ｑ

【作者名】
高坂　浩司

【あらすじ】
謎の地球外生物が地球を侵略してきた。
主人公の幸太は地球を守るため、殺された家族のために戦い続ける。

第一話　始まりの日（前書き）

この物語はフィクションです。

第一話　始まりの日

俺の名前は坂本幸太《さかもとこうた》
ごく普通の高校1年生だった
奴らが来るまでは・・・

「よう、幸太!」
こいつは幼馴染の鈴木泰治《すずきやすじ》。
小学生の頃からの親友だ。
「どうした?」
「知ってるか?今日転校生が来るんだって」
「転校生?」
その時から俺はなんか嫌な予感を感じていた。
「はーいみんな座って!」
「今日からこの高校に転校してきた子を紹介します。さぁ、入って自己紹介を。」
「藤崎美香《ふじさきみか》です。よろしくお願いします。」
俺は彼女に一目惚れをした。
すけとおるような肌、長くて黒い髪、きれいな瞳
「何か可愛くない?」
「うん・・・」
可愛いけど、俺には何か変なオーラを感じた。
学校の下校途中。
急に空が暗くなった。
「な、何だあれは」
無数の飛行物体が空を覆っていた。
その中から次々と謎の物体が降りてきた。

「きゃぁぁぁぁぁ！！」
向こうから叫び声が聞こえた。
次々と人が殺されていく。
そして一体の謎の物体が俺に気づいた。
殺される・・・そう思った。
だが、彼女は現れた。

第二話　戦うために

彼女は現れた。
「大丈夫？立てる？」
「うん・・・」
俺は目を疑った・・・
目の前で俺の好きな女の子が戦っている。
「い、一体君は・・・」
「話はあとで」
「先にこいつらを倒さないと」
次々と敵を倒していく。
「今のうちに逃げて！！」
彼女は言った。
俺は一目散に避難所へ逃げた。
避難所では生き延びた人たちが群がっていた。
「泰治！良かった生きてたんだ。」
「当たり前だろ・・・」
暗い表情で言った
あたりを見回した。
「あれ？俺の家族は？」
「・・・・・・・」
「おい・・・俺の家族は？」
「お前の家族は・・・奴らに殺された・・・」
泰治の言葉が理解できなかった。
「嘘だろ？」
「なぁ・・・嘘って言ってくれよ！」
俺は混乱していた。
「本当だ・・・」
「うぁあああああああ！」

俺はそのまま気絶した。
目を覚ました時には彼女が戻っていた。
「もう、平気？」
彼女は言った。
「ああ・・・」
「俺の家族は死んだんだな」
「ええ」
「くそっ！あいつら許せねぇ！」
怒りがこみ上げた。
「俺の家族もみんな奴に殺された・・・」
「許せない」
泰治が言った。
「で、二人は奴らをどうしたいの？」
彼女は言った
「そんなの決まってるだろ」
「奴らと戦って倒す！！」
「俺も同感」
「本当に戦う勇気はある？」
「・・・ああ」
「ある！！」
「じゃあついてきて」
彼女に言われたままついて行った。
「ここは？」
「地球防衛軍」
「通称ＥＤＦ（エディフ）」
「さっきのような得体の知らない外敵から人類を守るのが私たちの仕事」
「今までは地球の外部で戦っていたの」
「でも奴らは地球の内部にいるじゃないか」
俺は言った

「そんなの私にだってわかんないよ」
「ただ知っているのは、奴らは不思議な力を使うことよ」
「どんな力？」
「それは・・・」
ドーン。急にでかい音がした。
「美香、そこまでだ！」
突然大男がやってきた。
「た、隊長！」
「外部の人たちに教えたらいかんだろ」
「・・・すみません」
「で、君たちは何だね？」
戸惑った
「お、俺たちは・・・」
「彼たちはここの部隊に入るつもりよ」
彼女はわけを説明してくれていた。
「なるほど」
「で、君たちはここの部隊に入りたいんだな？」
「は、はい！！」
「よし、いいだろう」
「あ、ありがとうございます」
「泰治はどうする？」
「お、俺もよろしくお願いします」
「ただし、まずは訓練からだ」
こうして俺たちは一応ＥＤＦの一員になった。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能(たんのう)してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n6829q/

地球の最後

2011年10月8日18時05分発行